

一般部門の FAQ

2019/06/09

このファイルでは「一般部門」の FAQ を記載します。各チームにこれだけは知っておいてもらいたいという事項をまとめたものです。参加チームの皆さんは必ず目を通してください。

なお、各チームのリーダーは、レギュレーションおよびルールに関して疑問が生じた際には、info@indoor-flight.com までメールにて質問すること。レギュレーションおよびルールについての質問は 9/19(木)12:00 をもって打ち切り、これ以降の質問は原則として受けません。

Q1. 手投げによる離陸は認められるのでしょうか？

A. 手投げ発進は認められています。ただし離陸点の加点はありません。

Q2. 離陸に失敗して、離陸滑走中にミッションエリアに機体が進入してしまった場合は、地上滑走で離発着エリアに戻らないといけないのでしょうか？

A. 機体が静止した状態で、補助者 1 名が機体を取りに行き、再度滑走路から離陸操作を行います。

Q3. 救援物資についてもう少し詳しく説明してください。

A. ルールにも書いてあるように、救援物資は当日参加チームが準備します。搭載のために補助具などを取り付けても良いですが、袋の気密性を損なう加工は行ってはいけません。物資投下で、万が一、袋が破けて中身が出た場合でも物資投下の成否には影響しませんが、中身を意図的に押し潰すと袋に傷がついて弱くなるので行わないでください。出来れば大会では新品の物資を使用してください。投下された救援物資は競技終了後必ず回収して下さい。内容物が出てしまった場合にはチームが責任を持って後始末をしてください。

Q4. メインミッション、無動力滑空の時間判定はどのように行われるのでしょうか？

A. どちらも特設の計測時計による計測を行います。計測時計は審判補助者がスタート & ストップさせます。

Q5. 加点対象の滑走路内着陸静止とはどのような定義でしょうか？

A. 機体の一部が一箇所でも滑走路外の床に接している(接地している)とされた場合、加点されません。

Q6. ミッションを失敗した場合、やり直すのは可能でしょうか？例えば、無動力滑空をしたが、8秒しか滑空しなかった場合に、再度挑戦できるか、ということです。また、何度も挑戦できる場合、高い方の点を採用するのでしょうか？

A. コールしたミッションに失敗した場合、同ミッションについてのみ再挑戦を許可されます。ただし、得点は最後の挑戦の点が適用されます。

Q7. 救援物資(チキンラーメン mini)を機体に取り付けた状態で、救援物資が滑走路に接触しても良いのですか？

A. 救援物資は搭載のために救援物資補助具などを取り付けても良いが、袋の気密性を害する加工を行ってはならないとなっています。機体に搭載した状態で、袋が滑走路に接触しても問題ありません。

Q8. ミッションエリアに設置してある工業用扇風機はどのような物ですか？

A. 写真のような工業用扇風機を使用します。メーカーについてはいろいろありますが、一般的に入手できるファンサイズが45cmのスタンド式のもので。



Q9. 機体審査のフェールセーフの項目はどのようなチェックをするのでしょうか？

A. スロットルを前に進めた状態でモーターを回している時に、送信機の電源スイッチを切って(受信機への信号が途絶えた状態を作り出す)モーターが停止することを確認します。フェールセーフの設定方法についてはプロポの取扱説明書に記載されています。

Q10. タイムトライアルでライン B での旋回を確実にするために、チームの補助者を配置して旋回のタイミングのための合図を送ることは出来ますか？

- A. 操縦者は操縦エリアから操縦しており、ラインBの奥行きが難しく、出来るだけ小回りで飛行させたいためにラインBを通過しないで旋回をするケースが多く発生するものと思われます。そこで、旋回のタイミングを操縦者に知らせるための補助者をあらかじめ配置することができます。この人員はメンバー構成5名の中で行えます。補助者はマージナルエリアのラインBのところにマルチコプターの高さ制限参考用の3メートルのポールを立てますので、その場所とします。補助者の合図(発声)はあくまでも操縦者への合図であって、ライン通過を意味するものではありません。ライン通過はレフェリーが行いますので、もし通過が確認されない場合にはブザーは鳴りません。

Q11. タイムトライアルでラインAまたはB不通過でブザーが鳴らなかった場合の飛行方法について教えてください。

- A. 図のようにラインBに対して手前で旋回した場合にはブザーは鳴りませんので、すぐに旋回をしてラインBを通過して飛行を継続してください。ラインAでの場合も同様です。何度も失敗して時間がかかりすぎの場合、タイムトライアル中でもこのタスクの中止を申し出ることができますが、中止の場合にはタイムトライアルの加点はありません。この場合にも飛行時間は経過して行きます。

Q12. 投下機構の故障でどうしても直せなかった場合、救援物資を積まないで他のミッションを行うことは出来ますか？

- A. 可能です。